

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果について

四季が丘小学校
校長 伊豆田 智子

令和4年4月27日に実施された令和4年度全国学力・学習状況調査（学力テスト）の結果と分析について、次の通りお知らせします。

本調査は、教育の成果や課題を確かめ、改善するために、6年生を対象に平成19年度から実施されています。今年度の教科に関する調査については国語及び算数、理科で実施されました。

☆教科に関する調査（平均正答率）

（単位 %）

	国語科	算数科	理科
四季が丘小学校	76	73	78
廿日市市	70	70	67
広島県	67	64	66
全国	65.6	63.2	63.3

すべての教科で全国・県・市の正答率を上回り、安定した学力を身に付けることができています。しかし、次の内容に若干の課題が見られました。

【国語科】思考力、判断力、表現力の「書くこと」の文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章よいところを見付けること。

【算数科】「関係と変化」の領域の割合の場面について、日常の場面に即して、数量が変わっても、割合が変わらない場合があることを理解していること。

【理 科】 「物質とエネルギー」の内容について、光の性質について実験で得た結果を、問題の視点で分析・解釈し、自分の考えを記述していること。

☆学習環境や学習意欲等に関する調査（主なもの）（肯定的評価の割合）

（単位 %）

質問事項	四季が丘小	広島県	全国
人の役に立つ人になりたいと思いますか。	100	95.3	95.1
学校へ行くのは楽しいと思いますか。	76.9	84.5	85.4
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。	74.4	84.7	83.9

学校質問紙の結果では、色々な学習に対して意欲的に取り組み、社会の一員として役に立てる人になろうと意識していることが分かりました。しかし、人間関係づくりや学校へ行くのが楽しいと感じている児童が少ないという課題が明らかになりました。今後学級活動などで、友達と協働して達成感が得られる活動をしたり、6年生が全校児童に対して「仲良く」をテーマに楽しい会を計画、実施したりして、自己存在感が高まる活動を工夫していきます。また、最高学年としての自覚を高められるように、縦割り掃除や委員会の仕事を責任もってできるようにお互いに声掛けをし、認め合うなどして取り組みます。このように、様々な場面で主体的にみんなと協働して活動するを通して、自分はみんなの役に立っていると実感できるようにし、自己有用感を高められるようにしていきます。6年生の生き生きとした姿が、全校児童の手本となるよう、児童のよさをしっかりと認め、お互いの価値観を尊重し合えるように授業などでも対話の時間を多くもつなどして取り組んでいきます。

学校では、これらの結果を受け、現状に満足することなくよりよい学校教育が行われるよう、全教職員で共通理解を図りながら授業改善を進めて参ります。今後ともご協力よろしくお願ひします。

学習においては・・・

☆各教科を通して、複数の資料とつなげて考えたり、端的にまとめたりする学習を取り入れたたりして、思考力・判断力・表現力を高めます。

☆繰り返し身に付けた知識・技能を基に、問題発見・解決の学習を進めます。

【国語科】 思考力、判断力、表現力の「書くこと」の文章全体の構成や展開を理解し、視点や条件に沿って書くことを指導します。

☆「書くこと」の学習では、学年に応じて、下記のことを取り入れます。

- ・低学年では、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。（「始め－中－終わり」などの構成の理解、語彙の量と質を豊かにする等）
- ・中学年では、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。（形式段落と意味段落の理解、書こうとしている材料の中から、中心に述べたいことを一つに絞る等）
- ・高学年では、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。（「序論－本論－結論」の理解、書き出しに読み手の関心を喚起する等読み手が考えを理解しやすいように書き方を工夫する等）

☆語彙力を増やすために、下記のことに取り組みます。

- ・学習内容に関連した図書を読ませたり、読み聞かせたりする。
- ・各教室に図書室の本を設置し、いつでも手に取れるようにしたり、読書タイムや読み聞かせの時間におすすめの本を紹介してもらったりして、読書への意欲を高め、読書量を増やす。
- ・漢字の読み書きの定着を図る。

【算数科】 問題場面の数量関係に着目し、基準量、比較量、割合の関係や、伴って変わる2つの数量関係について考察することができるように指導します。

低学年では、まず、問題文を読み、分かっていることや求めていることを把握し、問題に取り組みます。絵や図を使って考え、自分の考えを説明したり、友だちの考えを聞いたりして理解を深めます。

中学年では、立式した際、どうしてその式になったのかを絵や図を使って説明する場面を仕組み、論理的思考力を高めます。

高学年では、立式した際、どうしてその式になったのかを条件や視点を示して説明する場面を仕組み、論理的思考力を高めます。

☆文章題や数量関係など、イメージをもたせるために

具体物操作を取り入れたたり、生活体験に即した問題を提示したりして、問題に取り組む意欲を高めます。また、ICTを活用したり、構造的な板書やワークシート等を活用したりして、問題解決に向けてイメージしやすくします。

【理 科】 自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、必要であれば改善して、自分の考えをもてるように指導します。

低学年では、色々な教科の中で体験や観察したことから、気付いたことを絵や文で表現したり、写真や資料を示しながら友達と考えを交流したりして、思考力や表現力を高めます。

中学年では、問題に対する実験の方法を検討したり、結果を予想したり、結果から考察をするといった学習の流れをしっかりと定着させます。観察、実験では、実際に様々な実験器具を全員が操作できるように工夫して指導します。

高学年では、問題に対する予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、観察、実験などを行った結果を事実として分析して、解釈したことを、結論の根拠を表現できるようにします。まずは、結果から考察を導き出したり、観察、実験に関する必要な条件等を考えたりする学習を積み上げていきます。

☆「学校へ行くことが楽しい」という児童の心情を育てるための取組

【低学年】

- ・教職員が子ども褒め、子ども同士で褒め合う機会を作り、自己肯定感を高める。
(ほめほめじゃんけん、帰りの会のほめほめタイム)
- ・全員遊び等を通して、友達同士をつなげる。(体育や生活などの学習の場面で)

【中学年】

- ・係活動の振り返りの場を設定し、学級のために貢献することができた実感できるようにする。
- ・学習の意欲の向上を図る。(分かる授業、個別支援、協働の場の設定)
- ・学級レクの充実を行う。

【高学年】

- ・失敗を否定しない、個を大切にできる学級の雰囲気づくりを行う。
- ・いじめにつながる問題等も、当事者意識をもって考えられるようにする。
- ・委員会、クラブ、縦割り掃除で学校全体へ貢献しているという意識をもたせる。

ご家庭で



国語科

「書くこと」「読むこと」は密接なつながりがあります。お父さんが図書室などで借りた本について話をする時間を作ってください。また、音読を聞いていただく時も、話をふくらませてみてください。

算数科

数量関係の学習は、日常生活に関わることが多いです。ジュースを同じ量に分ける。ピザを○人分に切って分けるなど、楽しみながら体験できる場面を作ってください。

理 科

空気や水の温まり方や雨水の行方など、これまで理科で学習してきた身近な自然の題材に触れていただいたり、「なぜ」「どうして」をご家庭の会話でも取り入れたりして、理科への興味関心を高めるきっかけを作ってください。

☆学校ではICTをどんどん活用しています。ご家庭でもタイピングやプログラミングのアプリなど、できることがありましたら、取り組んでみてください。